



観武

奥中山校 紹介



今年度、校門から昇降口内外や多目的トイレ等のバリアフリー工事をしています。

奥中山校は二戸郡一戸町にあります。校舎は奥中山小学校の後ろ側に寄り添うように立っています。近くには県立児童館「いわて子どもの森」「奥中山スキー場」「三愛学舎」「カナンの園」などがあり、福祉・教育の町としてとても恵まれた環境にあります。昭和56年の開校で、一昨年に創立40周年記念式典を行いました。

奥中山校の一番の特色は、開校当時からずっと続いている地域のこども園や小・中学校等との交流です。今年度は小学部7名、中学部12名でスタートしました。

5月は交流運動会、交流体育祭を奥中山小学校、奥中山中学校の児童生徒と一緒に取り組みましたので、その様子を紹介します。



【奥中山校のシンボルマークは「たけのこ」】

奥小・みたけ交流大運動会



5月20日(土)に奥中山小学校で交流運動会が行われました。心配されていた天気も回復し爽やかな風の中で競技を行うことができました。

開会式では、元気に入場行進や選手宣誓、ラジオ体操を奥小の児童と一緒に行いました。みたけレースでは奥小の4年生と一緒に協力してゴールを目指しました。成長を感じる1日でした。

奥中・みたけ交流体育祭

5月13日(土)に奥中山中学校で交流体育祭が行われました。天候にも恵まれ、奥中生の皆さんと一緒に各種競技に取り組みました。

交流体育祭のために1週間、奥中山中学校に登校して一緒に練習を行います。奥中山校の生徒は奥中に行くのをとても楽しみにしていて、練習も本番もいつも以上に気合いを入れて頑張っていました。



二戸分教室 紹介

二戸分教室小学部(石切所小学校併設)



二戸分教室中学部(福岡中学校併設)



二戸分教室は、平成20年4月、二戸市立石切所小学校内に児童4名、教職員3名で小学部が開室されたのが始まりでした。その後、平成25年4月、二戸市立福岡中学校内に中学部開室。平成28年4月、岩手県立福岡工業高等学校内に高等部が開室され、現在に至ります。

令和5年度は、児童生徒51名(小学部13名、中学部12名、高等部26名)、教職員32名でスタートしました。分教室における醍醐味は、なんとと言っても、日々、併設する児童生徒と自然に触れ合う環境と共に行う共同学習や行事です。今月は小学部の運動会と中学部の体育祭をご紹介します。

二戸分教室高等部(福岡工業高等学校併設)



二戸分教室小学部・二戸市立石切所小学校合同運動会

5月20日(土)前日までの雨でぬれたグラウンドを両校の職員で整備し、予定通り運動会を実施することができました。肌寒い日でしたが、徒競走、表現、団体種目、チャンスレースに参加する子どもたちの成長と活躍に胸が熱くなる一日でした。低学団による「飛び交う紅白玉」の採点中には、分教室でも取り組んでいるダンス楽曲「ジャンボリミッキー！」が流れ、会場全体で踊り、大いに盛り上がりました。



二戸分教室中学部・二戸市立福岡中学校合同体育祭

5月13日(土)に快晴の空の下、福岡中学校との合同体育祭が行われました。普段は強い風が吹き込むことが多いグラウンドも、この日ばかりは風がなく、穏やかな天候の中、一人一人が応援合戦、徒競走、ソーラン節で自分の力を精一杯発揮することができました。今年から団体種目「台風の目」が復活し、分教室も福岡中学校3年生と一緒に、競技を楽しむことができました。本校の生徒は、「炎華純青(えんかじゅんせい)」をスローガンに掲げる青組団に所属し、共に勝利を目指して戦っていましたが、残念ながら表彰には届かず、悔しい思いを口にする生徒が多かったです。それでも、やり切ったみんなの顔は充実感で満ちあふれていました。

